

ポックン・イルル通信 フェアや展示会に飾った「模型」の数々をご紹介します

当社は、今年度も、そして過去も数々のフェアや展示会に出展をしています。そして出展時には、**目で見て、触って、実感していただける**ような製品や工法の模型を飾っています。
今回は、今まで飾った模型の数々の一部をご紹介します。これらは全て社員のアイデアからできたものです。



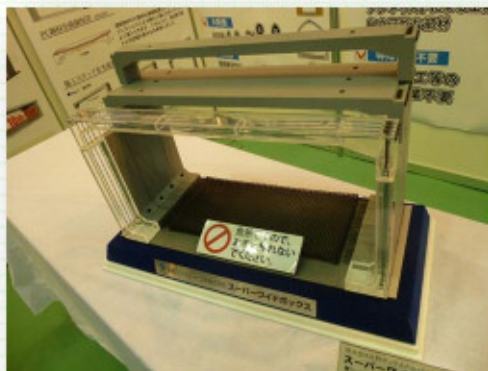
ループアーチ(1/5スケール)
ループアーチの模型は、型枠を製作し、鉄筋を入れて繊維補強モルタルで製作しました。



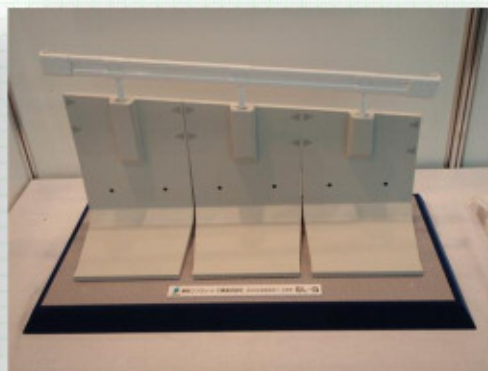
SBC工法
レールと鋼球でボックスカルバートが簡単に動き、工法が体感できる模型です。



SBC工法を用いた橋梁補強
SBC工法の特徴である鋼球でボックスカルバートが動き橋梁の下に収まる状況が確認できます。



スーパーワイドボックス
スーパーワイドボックスの1つをスケルトンにし、内部のPC鋼材が見られるようにしました。



SL-G
縦断勾配15%と曲線対応とガードレールとの関係を見ることができます。



フリーウォール
フリーウォールの模型を積み、中に模擬碎石を詰めて現場の状況を再現しました。



模型だけではなく、実物を飾ることもあります(SL-G実物大)。



昭和コンクリート工業株式会社